

科目名	ものづくり実習 3							年度	2025
英語科目名	Fabrication Practice 3							学期	前期
学科・学年	建築学科 2 年次	必／選	必修	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	升水 健太	教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築設計		
【科目の目的】 ・ものづくりの授業として住宅に合う人体系家具のデザインを行う									
【科目の概要】 人体系の家具を作ることを目的とするが、設計課題とのつながりを考慮したものづくりを行う。									
【到達目標】 A. ものを計画するときの適切なデザインできている B. 設計課題との関連性がある									
【授業の注意点】 評価はルーブリックにもとづいて行い、指導教員等により講評会において評価を行う。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル 3 優れている		レベル 2 ふつう			レベル 1 要努力			
到達目標 A	ものを計画するときの適切なデザインできている、機能的である		ものを計画するときの適切なデザインできている			ものを計画するときの適切なデザインできていない			
到達目標 B	設計課題との深い関連性がある		設計課題との関連性がある			設計課題との関連性がない			
【教科書】 配布資料による									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 成果品等で評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

